

アマダイ通信NO. 95

(Tile fish network letter)

2013年 風薫る季節に

知人・友人各位

アメリカのボストンマラソンの爆破事件に続き、中国四川の地震で大きな被害が発生した。アメリカンドリームを振り撒き、世界中から移民を集めるが、厳しい競争は大きな格差を生み、落伍した者を深い失望の淵に沈め、テロへと駆り立てていないか？四川の地震で李克強首相がすぐさま現場へ駆けつけたのも、絶望的な格差からくる不満に火をつけ、民衆の反乱につながることを恐れるからではないか？行き過ぎた競争と大き過ぎる格差は社会を住みにくくし、国家を内側から崩壊させないか？「類的存在としての人間」、この言葉をあらためてかみしめたい。皆さんと共に。

◎大腸がん完治記念、夢は異国で舞うように滑る!?

彼岸の中日の休日、ポカポカ陽気、東京は桜が盛りだが、山は雪がたっぷり。いつも同行してくれる同世代のK君夫妻は、K君が股関節ぎっくり腰でリタイア、通産省OBの大学の後輩と四駆のオデッセイで、奥根宝台樹二人旅。渋滞が酷ければ東北道を迂回する決意を見透かすかのように!一度も渋滞なし。11時過ぎ着、午後券発売の12時半まで、いつもの婆ちゃんの蕎麦屋で二人でビール大瓶2本と地酒3本は飲み過ぎか。

シーズン13回目のスキーは●のステージⅢb(ほとんど治癒する見込みなし)の大腸ガン手術十周年記念日。ブッシュが石油資源と中東の覇権のために「大量破壊兵器」にこじつけ無理やり始めたイラク戦争からも十周年。点滴チューブを引きずり「戦争劇を観戦」した●は何事もなかったかの如くに元気で、シーズン13回目の日帰りスキーを楽しむが、米軍が撤退しても社会が安定せず、テロが続き、経済復興も進まないイラク。ブッシュとアメリカの罪は重い。無批判に追従した小泉自民政権の罪も重い。心配された氷雨にもあわず、4時間で15本のスキーを満喫。雪もザラメでスピードが出ず、最上級コースもノンストップで滑降、一度も転ばず気分よし。ひなびた町営温泉で疲れた体を癒す。

K君の股関節ぎっくり腰は快復せず、14回目のスキーは95センチのウルトラショートスキーを担いで、4回目のGALA一人旅。「春スキーワンデーGALA」が大人の休日クラブ会員特典で3割引の8450円、更にビューカードから頂いたサービスチケットで5千円引きの3450円!新幹線とリフト券付きで春スキーを楽しむ。東京駅は子連れで混雑。越後湯沢で先ずは新橋亭。天せいろ1550円、駅中の小島屋より安いが1260円の中野屋より高い。キリン大瓶700円も高く、中野屋と違い生ビールがない。それぞれに美味しいが、スキー場のお屋はやはり宝台樹の幸新。婆さんの手作り山菜とお新香、モツ煮と鴨ゼイロでやる地酒がいい。

前回のガーラより多く4回ゴンドラに乗り2.5キロの下山コースを4度、他のコースを10本と、たっぷり滑る。雪はまだあり客もいるが、シーズン末でザラメ。ショートスキーはストックなしで両手でバランスを取るが、難しく、右に左に忙しく腕を振り、恰も舞うが如くに!滑る。ザラメでスピードは出ないがバランスを崩し一度転ぶ。自分に肘鉄を一発。肩は大丈夫だが脇腹が痛い。80才で再度エベレストに挑戦するプロスキーヤーの三浦雄一郎が、

元気だから挑むのではなく、挑むから元気になるとテレビで語っていたが、上手だから挑むのではなく、挑むから上手になるのだとばかりに、80才までにアルプスやカナディアンロッキー、ノルウェーのオーロラの下で舞う様に滑れないものか？

◎バツケとヴィクトリアタワー、アベノミクス

強い低気圧が襲来、関東・甲信越は夕方から大荒れになるという4月最初の土曜日。婆ちゃんの手作り料理と地酒目当てが半分の「チーム幸新」としては、翌日でスキー場閉鎖なので、早めに雨が降ったら、最悪蕎麦を食べて、宝川の大露天風呂に入って帰ろうと、少し早め、7時半くらいに晴海を出る。片手が空けば新幹線スキーも楽と新しく買った、両脇にスキー靴入れのポケットが付いたスキーバックにスキー用具を詰め替え、？十年使って擦り切れたバッグと懐かしのヴィクトリアの靴袋にさようならを告げる。

20年前バブルに乗り、湯沢岩原スキー場にヴィクトリアタワーを建てたヴィクトリアはバブルに沈み、ゼビオが買収。店名やヴィクトリアタワーの名前は残るが、シューズバッグは短い紐2本付きの使い勝手のいいカラフルなヴィクトリアの手提げから、ゼビオの黒い一本紐のショルダーに替わり、靴が中でゴロンゴロン。使い勝手が悪い！

折からバブル再来を告げる？黒田日銀の幕開け。バブルに乗るか？反るか？金利は下がり、円安も進み、株価は上がる。🍀が片足を置く建設業界も、東北地方の復興需要とアベノミクスを早くも反映したか？人手不足、業者不足、製品不足が言われ始め、潮目が変わったとの声も。設備投資し、人を増やしバブルに乗るか？じっと我慢、まずは筋肉質にして、それから打って出るか？経営者の判断次第でアベノミクスの成果も変わる、などと思いながらリフトに揺られていると、急に風が強くなり、上級コースのリフトが止まる。ファミリーゲレンデではつまらない。2時半くらいに7本ほど滑ってスキーは止め、今シーズンの宝台樹も幕。

お婆ちゃんの蕎麦屋も客は我々だけだったよう。春の嵐では翌日曜も期待薄と、残った白菜の古漬けを、美味しいからと四人で分けて貰い、雪の下からふっくらと若草色の顔を出したバツケ（秋田の方言でフキノトウ、蕨の臺）採り大会。田舎では美味しい山菜が他に沢山あったので採ったことはなかったが、帰ったら天ぷらで一杯やろう、蕨味噌が美味しいと、童心に帰って大人四人で蕨の臺狩り。春の山では山菜のサクにかぶるれ苛められっ子、山菜採りも得手でなかった郵便局の革ちゃん、この手の競争では田舎ではビリだったが、今日はトップ。ひなびた町営温泉で蕨の臺狩りの爪の泥も落とし、酔いも覚ます。

◎KITTE、一見の価値あり！

🍀こと、郵便局の革ちゃん、これまでも郵政省の建築のお手伝いは何度もさせて頂いたが、民営化後も東京や名古屋駅前のJPタワー（旧東京、名古屋中央郵便局の再開発ビル）でお世話になる。これからも全国の郵便局の建て替えが続く。年度も変わったので、日本郵政施設部の幹部に挨拶に伺う。アポ取る電話の先で、干場さんKITTE行きました？と聞かれ、まだだったと、慌てて東京駅前のJPタワーへ。

地階と一階が飲食店、郵便局、二階から六階が吹き抜けの物販・飲食・文化ゾーンで、愛称がKITTE。高層階がオフィスゾーン。ゆったり目のフロアに秋田のキリタンポ鍋など、地方毎の名物飲食の店が入り、東大の博物館の出店、インターメディアテクまである。

ワニの大きな骨格標本などが出迎え、実物大の古い教室も再現、当時の映写機も備える。

特別講義などもするという。産学連携の素敵なスペースだ。宮崎企画部長に、東大にただで使わせて、採算厳しくなるんじゃないですか？と尋ねると、特区制度の適用で、その分容積率の割増を受けているとのこと。入口の「ワニ」も同じ爬虫類だが、絶滅した恐竜だという。一見の価値あり。

◎海女（アマ）と海士（アマ）

出勤前に NHK の朝の連続ドラマ「あまちゃん」を見る。日本海(白神の海)では男(海士)が潜る。夏季は底曳網漁が休漁なので漁師が潜る。太平洋(三陸)では女(海女)が潜る。夏の白神の海で🐞は朝から日没まで海に潜り、鮑（アワビ）や栄螺（サザエ）を求め、アイナメをヤスで突いた。時に寒天になる天草、糊や蕎麦のつなぎの原料のトサカ（布海苔）、モズクも採った。三陸の海女は専ら雲丹（ウニ）を採る設定だ。雲丹丼や雲丹弁当にして売る。あまちゃんのお婆ちゃんは雲丹と思うな！銭と思え！と孫を叱咤激励する。

あまちゃんが昆布に足を取られ、死にかけるくらい栄螺や鮑の、勿論雲丹の餌の昆布が繁茂しているのだから、栄螺や鮑も豊富な筈。三陸は若布も名産だが、昆布も豊富だ。緯度的に変わらないと思うが、北の海藻の昆布が生えない白神の海の方が、温かいようだ。海流の関係だろう。白神の海にも馬糞雲丹や紫雲丹がいたが、子供の頃、雲丹には目もくれず、ひたすら鮑や栄螺、アイナメを追い求めた。家に持ち帰るとお袋が喜び、時に銭になった。栄螺や鮑の近くでトゲを立てる雲丹は邪魔者でさえあった。

海女が鮑や栄螺を採らないとすれば、誰が採るのか？最近の白神の夏の海では岩牡蛎が鮑より高く売れるので、牡蛎（カキ）の方が海士に人気だという。岩牡蛎は三陸の特産。それに好き嫌いが分かれるホヤも三陸の特産ではないか？これらは誰が採るのか？そういえば房総の海女は鮑や栄螺を採るという。

◎NHK小野副会長への手紙・・あまちゃんに思う、格差と貧困のないデンマーク

干場です。昨日に続いてメールします。「あまちゃん」を見て、職業選択と教育制度について考えさせられました。高校生で職業として海女を選ぶことになったあまちゃん。OJTでお婆ちゃんから、厳しい指導を受けることになったが、若くしてやりたいことをみつけ、研鑽を積み、しっかりした生活基盤を築くことはいいことだ。日本は高校での専門職業教育が縮小し、工業、農業、商業高校が総合高校の職業科に衣替え、取り敢えず高校を卒業、大学へと、職業選択は先延ばしの傾向だ。それが世界のトレンドかということ、そうでもない。

ドイツなどヨーロッパでは中学卒段階で、社会生活のための基本的素養を積み、職業別の専門学校に進み職人になるか？高校で更に一般教育を受け、大学で医師や弁護士など高度な知識を必要とする職業を目指すか？選択する国が多い。職業による所得格差が少ないので、無理して高校、さらに大学には進学しない。失業したり、転職する場合も手厚い失業手当と職業訓練が用意されている。職人になった場合もその道を極めようと思えば、高等専門学校に進むことができる。

外国語や三角関数、正負の計算、関数などを必要としない職業は多い。音痴の甘鯛は高校で音楽の授業から解放され、天にも昇る思いだった。合唱や斉唱の時は口だけパクパクさせてどうにか凌げたが、一人で歌わなければならない時は穴にでも入りたかった。同じように音楽や素潜りは得意だが、数学の授業の時は逃げ出したい、学校なんか無くなってしまえ！

と思う子も沢山いるだろう。そんな子は、砂を噛むような一般教育からは解放、専門職業教育を受けさせ、誇り高い職人生活のスタートにつかせてはどうか。「格差と貧困のないデンマーク・・世界一幸福な国の人づくり」はデンマークで社会福祉の実践を学び、現地で、社会福祉の現場活動に従事している千葉忠夫さんの書いた、PHP 新書。その辺が詳しい。

素潜りの潜水時間 26 秒からスタート、1 分潜れてあまちゃんは一人前の海女に。甘鯛も一潜りで鮑は 1、2 個、栄螺は 2、3 箇所 4、5 個を手にして水面に急浮上した。自然治癒の小児結核で肺の一部が石灰化しているにもかかわらず肺機能は強化され、いつ、どこで測ったか記憶は定かではないが肺活量 4500CC！クスコとマチュピチュ、チチカカ湖、九寨溝、チベットなど世界の名だたる高所観光地でも、薄い空気から必要な酸素を十分に取り込んでくれた。それでも郵便局の革ちゃんの収穫は漁師の子に遥かに及ばず！職業としての海士は選択出来ず。取り敢えず高校へ進む。

◎スイカでイコカ!?鉄ちゃん?週 4 回新幹線で往復!

3 月最後の週、新幹線で来て下さいよ！と言われて、JR 関連の広島の広成建設へ片道 4 時間弱のぞみに乗り営業。その翌日は仙台まで片道 2 時間弱の新幹線出張。復興住宅の件で都市再生機構小山震災復興役に、仙台駅ビル増築の件で JR 東日本仙台工事事務所長に会って頂く。火曜日はのぞみに乗り、大阪の JR 西日本関連のゼネコン大鉄工業に顔を出す。土曜日は GALA 湯沢へ新幹線スキー。何と週 4 度新幹線で往復。潜らなくなったアマ (海人) ダイは、鉄ちゃんに愛称変更したと？お知らせする必要があるかも知れません！？

仙台出張は 3 月 16 日から運転のスーパーこまちで。春休みで子供達が群がって写真を撮る人気。車内も家族連れで満席。日本の優れた鉄道システムを日本の子供達だけでなく、世界の子供達の夢にしたいもの。JR 東海が台湾新幹線の延伸、サービスの強化を手伝い、アメリカにリニアや新幹線を輸出する計画が進んでいるようです。ベトナムでも採算の厳しいフル規格新幹線に代わって、ミニ新幹線導入の話が出ているようです。稲穂が頭を垂れるベトナムを、こまちが疾駆する日も遠くないかも知れません。スーパーこまちはこれまでよりもゆったり感じる車内ですが、のぞみと同じように座席窓側にコンセントがつけられ、パソコンや携帯の充電が便利になったのは嬉しい。

進化して止まない日本の鉄道システムだが、3 月から大都市圏の交通系 IC カードの大部分が相互乗り入れ、全国で使えるようになり👉のような出張族には更に便利に。電車や地下鉄に乗る時も切符不要、バスに乗る時も小銭がなくて困ることもなくなった。JR 東日本本社で、落第して 3 回目の一年生をした時の同級生佐々木常務(後に副社長から JR 東日本企画の社長)から、これ便利だよと五百円入りの販促用の？スイカをプレゼントされた時は、分厚くて、定期入れが嵩張る、困った奴と思ったのが嘘のよう。

先日、大阪まで通しの切符を買って京都で途中下車、一仕事。在来線の新快速に乗り、新大阪へ。ところが途中下車の切符ではなく、スイカで改札を出入りしてしまう。しばらく歩いて気付き、近くの改札で、京都で途中下車した新大阪までの乗車券を出し、清算してスイカに戻してくれと言うが、ここは新幹線の改札なので、在来線の改札でお願いしますと、門前払い。在来線の改札に戻り同じ主張を繰り返すが、IC カードで出たのは清算出来ませんと、にべもない。京都～新大阪 540 円分を、JR 西日本に？寄付。20 円足すと大好きな蓬菜の豚マン 4 個買えたのに！と苦笑い。

◎保守とリベラル・松元直歳君、真っ直ぐに歳をとる

3月12日、世田谷区民会館での国士館大学法学部比較法制研究所主催「『国際極東軍事裁判審理要録』出版記念祝賀会」に参加。最初の中国語クラスと同級生松元君の出版記念祝賀会。前ベネズエラ大使の下荒地君、元大蔵省の西田君、丹波で晴耕雨読の小林元裁判官も駆けつける。JALを50歳で退職、63歳で岡山の私立大学を定年退職、国士館大学特別研究員として同大に埋もれていた国際極東軍事裁判の英文の速記録を、助手と協同で翻訳・編集、原書房から一冊2万6千円ほどの大著の一卷目として刊行した。国士館大学創立百周年記念事業の目玉プロジェクトの一つとして、四巻で完結するという。建物を造るよりも立派な記念事業になったと喜ぶ大学理事。経営側にも理解して貰い素晴らしいプロジェクトになったと教学側も喜ぶ。松元君もどんなに嬉しかったか。

クラスの最左派と最右翼ということで、学生時代から意見は合わなかった。これからも、交わることはないだろうが、民営化直後のJR東日本に、JALから営業担当部長で出向していた時、観光開発について故郷秋田で講演して貰うなど、何故かうまがあう。真っ直ぐに歳をとったのは慶賀の至りだ。傾向として右翼は性悪説的で左翼は性善説。右翼は自助・自立を強調、左翼は協助・連帯を求める。右翼は競争を、左翼は協働を志向する。右翼は欲望を人間の本質とし、左翼は欲望もコントロールし得る、「衣食足って礼節を知る」とする。右翼は国家を絶対的なものとして、個人を国家に奉仕させようとする。左翼は国家を歴史的な存在とし、国家は個人のために存在するという。右翼は歴史を循環するものとして捉え、左翼は進歩するものとする。以上から、それぞれに濃淡ありとは言え、傾向として右翼は保守、左翼はリベラルと言えよう。リベラルは日本では劣勢だが、ヨーロッパでは主流だ。

保守としての松元君、極東軍事裁判は勝者が敗者を一方的に裁いた不当な裁判だとし、その不当性を明らかにするために、裁判の速記録を翻訳、刊行する。その心意気やよしである。膨大な裁判の記録が利用しやすい形で公開されることで、自身の思惑を超えて裁判そのものの真実が明らかになり、歴史研究の一頁が進むのは慶ぶべきことである。歴史の愚を二度と繰り返さず、人間の歴史が進化することを知るためにも悦ぶべきことだ。

◎植樹20周年黄土高原紀行(2012.8.19~25) (1)

1992年にNPO法人「緑の地球ネットワーク(GEN)」(高見邦雄事務局長)の中国・山西省・大同市での黄土高原緑化活動が始まって20年。緑化・救貧・友好と、草の根の小さな組織の割には大きな成果を上げて来た。10周年では写真家の橋本さんが写真集「黄土高原」を出版、京都を皮切りに、大阪・広島・岡山・名古屋・東京の各駅でJR各社のご協力で写真展を開催、大きな反響を得た。GEN世話人の一人として小生も尽力。あれから十年。中国の姿も日中関係も大きく変わり、今又、変りつつある。一昨年末の東大農学部での記念シンポジウム・パーティに続き、大同でも記念行事を開催するとのことで、この十年間に変ったもの、変わらぬものをこの目で見ようと、昨夏大同に旅立つ。

①「官庁ダム

朝10時過ぎに羽田を千葉方面に向け飛び立つ。羽田からの国際便は初体験。ディズニールランドを左に見て左旋回、多摩川沿いに西へ。気がつけば大きな湖を左に見て、日本海に抜ける。山の濃い緑と平地の緑、白い砂浜と渚の翠、海の藍のグラジュエーションが美しい。

青い空に白い雲。入り組んだ海岸線が単調になるとしばらくして群青の海に変わり、白一色の雲の絨毯の上を飛ぶ。雲が切れ陸地が現れると朝鮮半島。陸地が消え、渤海湾は雲の下。20分ほどで北京着陸ですとアナウンスがあると雲は消え、街の景色が広がるが、薄い靄がかかる。60年代、日本でも健康被害をもたらした、大気汚染だろうか。

北京空港から市内へは入らず、直接大同まで3百キロを車で向かう。環状5号線からチベットと北京を結ぶ京蔵公路を西に走る。東京で言えば外環道や圏央道に当たる辺りを走るが、高速道路は渋滞続き、道路脇では高層住宅群の建築ラッシュ。日本のイオングループのショッピングモールのある辺りも大渋滞。前方から歩いて来る若者、一人ならず。現地スタッフによると、マンションのチラシを運転者に手渡しているという。北京のマンションは高いので青島のマンションのチラシも入れたりするという。北京の人間が青島の住まいを手に入れても、仕事をどうするの？とってしまうが、投資用かも知れない。

久しぶりに見る、万里の長城で有名な八達嶺の辺り、これまでより緑が濃く見える。地区単位、職場単位で植樹を続けて来た成果か？今年は雨が多いのか？北京の水甕の一つ官庁ダム。前回北京五輪の前に来た時には干上がって、ダムに掛かる橋の上から水際は見えなかったのだが、橋の更に上流まで水を湛えている。この夏何度か大陸を襲い、北京を水浸しにした台風のおかげか？揚子江の水を黄河に運ぶ南水北調の効果が出始めたのか？官庁ダムの周りには風力発電の風車の群れ、数百どころか、千機はあるという。

②建設ラッシュと無人のサービスエリア

北京を過ぎ河北省に入ると緑が薄くなり、黄土高原特有の風景が広がる。なだらかな山地には小さな集落が点在、段々に畑が拓かれ、トモロコシ、ヒマワリ、ジャガイモなどが植えられる。広大な黄土色の大地に稀に降る雨が奔流となって刻んだ深い亀裂が遙かに走り、深さは時に2百m以上に及ぶ。段々畑の向こうには耕作不能な山々。山には低い灌木や草がまばらに、時に横に筋をなす。黄色と緑、空の青と雲の白のコントラストが美しい。この地では雲の白は得難い。畑の緑と山の濃い緑に勢いがあり、白い雲が浮かぶ今年は雨が多いのか？山裾は緑の盆地となり街が広がる。砂漠のオアシスに似て。

河北省の高速道路のサービスエリアで最初のトイレ休憩。高速道路が延長されて間もない4、5年前に立ち寄った時は、売店(スーパー)とレストランも営業していたが、今回はトイレと小さな売店、ガソリンスタンドだけ、スーパーとレストランは青い鉄板で囲まれている。前回も余り客はいなかった。片側2車線で、車が少ない訳ではないが、そろそろ山西省境も近くという所で、最後のトイレ休憩。ホテルもある真新しい、大きなサービスエリアだが無人。スーパーには陳列棚などの什器はあるが商品はない。トイレのドアは施錠、ご丁寧にワイヤーまで巻きつけている。仕方なく夏草を分け入り、地球大のトイレへ。反対車線のサービスエリアも無人で、誰か過大投資の責任を取ったのか？建設に当たり大枚の賄賂も動いたのだろうか、返した人はいたのか？

大同の城区(中心市街地)へ、更に内モンゴルへと高速道路は続くが、降りて一般道を走る。初日の目的地は大同市の一番南の広靈県。河北と山西を隔てる太行山脈の山裾を走る。遠く山の分水嶺に巨大な風車群。河北の県城を通過。六階建てくらいの真新しいきれいなアパート群が建ち並び、建設ラッシュだ。その先には懐かしい風景が続く。二階建てや精々四階までのごちゃごちゃした店が並び、道端には麺や饅頭を食べさせ、果物等を売る屋台が連なる。

更に石炭を山と積んだ選炭場が道の両脇に並び、少し離れた所には独特の、真ん中がくびれた台形の巨大な蒸気発生器を持つ石炭火力発電所も。家並みが途切れると畑や草地が続く。農夫が地を耕し、牛や羊が草を食む。やがて牧歌的風景も終わると険しい山道が続く。23人の日本人と1人の現地スタッフを乗せて中型バスは山肌の黄土色と緑、空の青の織り成す、厳しくも雄大な景色の中を結構なスピードで走る。

山西省に入り広靈の県城を通過すると、ここも建設ラッシュ。大きな火力発電所も見えるが、建設途上だという。陽も落ちて8時近く、靈丘県のホテルに入る。部屋に荷物を置く間もなく、下階のレストランで温い青島ビールで乾杯。カウンターパートナーの総工会(労働省と連合を足したような組織)の幹部も挨拶。次々と運ばれる少し辛めの山西料理を肴に、水代わりのビールと交互に、親指の先大の小さなグラスで、50度ほどの白酒の盃を重ねる。ホテルの部屋に湯船はなく、同室の人生の先輩にシャワーは譲り、ベッドに潜り込む。朝早く目を覚ましシャワーを浴びるが、お湯が出ない。やむ無く冷や水を浴びる。早や羽田のトイレのウォシュレットが懐かしい！機内のアルコール5%の冷たいサッポロ黒生も喉に心地良かった！2.5%の雪花ビールや3.1%の青島ビールは薄すぎる。(続く)

◎和歌山毒カレー事件は無罪！？

3月の年一回の大阪での三鷹クラブ講演会、寮歌新壘(にいほり)の合唱で締めて、楽しく二次会に。十歳くらい若い参加者の河合潤京大教授。和歌山毒カレー事件に使われたヒ素と林真須美死刑囚の自宅から発見されたヒ素は別物という再鑑定を出し、それを元に弁護団が再審請求したところ、2チャンネルで大バッシングされているという。

スプリング8という、どんな微量物質の分子構造でも解析できるという最先端の放射光施設(建設費1100億円)でも、分析する人間によって違いが出る、包丁は使い用という不思議。2チャンネルというネット世論の裏と表、在り様等を来年は話して貰えないか、願います。

三鷹宿舎になってからの若い寮生久米弁護士も、尼崎の連続殺人事件の国選弁護士が回って来てとぼやいていたが、彼に話して貰うのも面白い。「自分がやらないと、自分の方が殺られる」という、連合赤軍事件と同じような狂気の構造。主犯の警察の留置場での自殺、国選弁護士制度の問題点等、色々興味がある。世代を超えて議論が盛り上がる。

◎水俣病から福島第一原発を考える・東大三鷹クラブ第108回定例懇談会

今回の講師は小島敏郎青山学院大学教授(S42年入寮、愛知県立旭丘高校出身、元環境省地球環境審議官)。小島君は素浪人の私の次の三鷹寮委員長。私の前の委員長は駒場で中退、労働運動・日中友好運動から中国黄土高原緑化運動を立ち上げ、中国政府から「国家友誼賞」を頂いたNPO法人「緑の地球ネットワーク」事務局長、大陸浪人の高見邦雄君。その前もS41年入寮同期、正義と人権のため活躍する小林政秀弁護士。その前が40年入寮、東京銀行で独、英、中東等で国際的に活躍した辰紘先輩。その前が日本郵船社長、会長を歴任、経団連副会長の要職を務める宮原耕治先輩。人生色々、だが、色々ある選択肢の中から霞ヶ関を、優秀な成績で上級職試験を突破しながら、大蔵省ではなく設立早々の環境庁を、学生運動に続く活躍の場を選び、彼を事務次官に次ぐ地球環境審議官のポストにまで昇り詰めさせたのは、折から日本を根本から揺るがす水俣病事件ではなかったか？今又、日本を根幹から揺るがす福島第一原発事故を目の当たりにして、小島教授にライフワークの「水俣」を通し、

「福島」を語って貰います。

小島君曰く、「水俣病では、①命よりも経済が大事とされたこと、②被害者は企業城下町で差別され続けたこと、③政官業そして東京の学者は水俣病の原因究明を妨害し続けたこと、④昭和34年12月にむりやり水俣病を収束させたこと、⑤細川チッソ病院長のネコ400行実験で原因が自らの企業であることを知りながらチッソの経営陣は隠し続けたこと、⑥初期の隠ぺい工作によって水俣病が拡大したこと、⑦二度目の水俣病である新潟水俣病が起こらなければ企業は責任を取らなかったこと、⑧水俣病被害補償に行政が関与し続けて患者間の分裂を引き起こしたことなどなど、今の福島第一原発事故は水俣病で起こったさまざまな出来事を思い起させます。50年も前の出来事です、あまり進歩をしていないのかもしれない」と。
(S41年入寮干場革治)

日時：平成25年5月22日（水） 18時開場、18時30分開会、～21時

場所：学士会館本館203号室（千代田区神田錦町3-28 TEL 03-3292-5931）

会費：5000円（会場費、夕食代・飲み物代、通信費など込み）

定員：70名（先着順：定員を超えない限り特に連絡は致しません）

申込先：平賀・干場 FAX 03-5689-8192 メール tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

二次会：別途 近くの中国料理店SANKOUEENで、講師参加で行います。

◎歌舞伎観劇会を三鷹クラブのメニューに！

3月9日、土曜日の昼、寮関係者43人参加で、国立劇場で歌舞伎鑑賞会。チケット引渡しもあるので、早目に国立劇場へ。金曜日、花粉症で涙だらだらになりかかる。一昨年飲み残しのステロイド剤を飲んだらピタリと止まるが、猛烈な眠気。観劇中に居眠りするか心配になるが、四世鶴屋南北作通し狂言「隅田川花御所」、中村福助主演で25年振りの上演、4時間半のロングランを居眠りもせず、楽しむ。参加者には喜んで貰えたようだし、95年入寮の後輩、国立劇場の西沢君の営業にもなるので、三鷹クラブのメニューに加え、2回目を11月くらいに予定しています。更に多くの関係者に参加して頂いて、老・壮・青の連携に繋がればと思います。

★先日の国立劇場観劇の企画は大変良かったです。本格的な狂言を初めて見ましたが感激しました。川見夫妻もわが奥様も同様の感想でした。秋にでも又企画して戴ければ有難いですね。年2回が負担なら年1回でも良いかと思う。国立劇場の彼にもよろしく。

(S40年入寮 辰 紘)

★干場様、お世話になっています。先日はありがとうございました。思ったよりもみなさまからの反響も良いようですし、秋にもぜひお願いします。また、秋のラインナップが出てきたところでご相談しますので、よろしくお願いします。若い世代も呼びかけたいですね。辰様にもよろしくお伝えください。（95年入寮、国立劇場営業部営業課営業係 西沢文孝）

◎最後に（メール配信でいい方は tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp 迄アドレス送信を！）

4月7日、三鷹寮の新入生歓迎会に、三鷹クラブから差し入れの寿司桶持参で辰先輩と参加。定員600名の半分は新入生なので、狭い共用ホールは立錐の余地なし。学部の援護なしで、寮生のコミュニケーションを図ろうと奮闘する委員会の諸君の手助けに、多少はなればと思う。近々新入生歓迎会の慰労会を若い諸君とするのが楽しみです。再見！